

伸びる すぎの芽



No.82
すぎの芽会だより
令和4年
2月1日

発行・編集 社会福祉法人すぎの芽会 〒321-3221 栃木県宇都宮市板戸町3650 TEL 028 (667) 8091 FAX 028 (667) 8092
ホームページ http://suginomekai.or.jp/ Eメール info@suginomekai.or.jp



ダイセンター
すぎの芽より



理事長 藤戸 時一

新年に想うこと

新春を迎えるに当たり、心よりお喜び申し上げます。昨年はコロナ禍の中に在って、皆様方には日頃よりご理解とご協力を頂き、誠に有難うございました。本年も宜しくお願い致します。

さて、新型コロナウイルス感染症も一時終息したかに見えましたが、変異株の動きも気になるところであり、従来と同様に感染予防に努めて参ります。昨年度は法人創立三十周年を迎えることが出来ました。今は、大きな成長の節目を超え、初心に帰った想いです。本年の行動軸としては、当法人の経営理念にも掲げられている「意思決定・自己実現」を追求して行きたいと思えます。障がいのある方の「自分らしい暮らし」の実現には、本人の想いを尊重し、その実現をサポートする意思決定支援の取り組みが不可欠と思われるからです。意思決定支援とは、①可能な限り本人が自ら意思決定できる様に支援すること、②支援を尽くしても不可能な場合、最後の手段として本人の最善の利益を検討し支援することです。日常生活場面での「小さな意思決定」の積み重ねによる、本人の「生きる力」への促しは、社会生活場面での「大きな意思決定」に繋がります。その為今、サービス利用に留まらず、本人のライフステージに添った、継続性・貫性のある意思決定支援の取り組みが求められています。「あきらめ」ではなく「可能性を探る」、「どうせ無理」から「どうしたら出来るのか」への転換を期待しています。その上で、利用者の皆さんの想いが反映された「個別支援計画」「サービス等利用計画」になっているかを問い直して行きたいものです。その為に、「支援を支える人材の育成」にも傾注して参ります。

一方、支援者の環境改善による、魅力ある職場づくりとやりがいのある施設づくりを目指すことが必要と思われまます。法人の第二期中长期事業計画の中で、障がい分野では、利用者・保護者の高齢化も進む中、「親なき後の問題」として施設の機能の在り方や今後の指針を課題として捉えて行きます。一方、人材育成の面では、職員の処遇改善を契機に環境改善全般を推進し、とちぎ介護人材育成認証制度に挑戦して参ります。

今年には自然災害の少ない穏やかな日々が過ぎてくることを願ってやみません。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「すぎの芽会の動向」 明るい明日を願う

法人事務局長 中澤和男

令和4年、新しい年を迎えました。謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年も、新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息することを願う年明けとなりました。

昨年は、年明け早々新型コロナウイルス感染拡大の第3波に見舞われ、またゴールデンウィークを挟んだ第4波、7月から9月にかけての第5波と休む間もなく警戒の連続でした。各事業所とも外出は控え、帰省や面会も自粛をお願いする等の措置をせざるを得ませんでした。それまで「当たり前」と思っていた「楽しみ」がなくなり、生活にぼつかり穴が開いたようになってしまいました。

しかし、そんな穴を埋めようと、各事業所では新たな「楽しみ」作り工夫を凝らし、力を入れていたようです。

季節のイベントや創作活動を充実させたり、施設の中庭で独自のオンラインピック・パラリンピックを開催したり、コロナ対策を徹底した「コロナ禍のカラオケ大会」を企画したり、外へ買い物ができないならと施設内で買い物イベントを実施したり、縁日や夕涼み会を開催し、焼きそば・フランクフルト・かき氷の屋台を出したり、それぞれの施設・事業所でコロナの制限の中でも負けずに、「楽しみ」を広げる努力をしていました。

またコロナ禍だからこそ、私たちが身に付けた方法もあります。オンライン上

のWeb会議システム「ZOOM(ズーム)」を使ったりリモートで、他の事業所の利用者さんとの交流会も実施しました。これまですぎの芽まつりや他のイベントを通して行ってきた交流を、離れていてもリモートという新しい形で行うことができました。

コロナ禍で、すぎの芽まつりは中止になりましたが、今年も昨年続き各事業所のアトラクションを映像に収め、他の事業所でも見られるようにしました。どの事業所も昨年以上に歌や踊りの出し物に一生懸命取り組んでいましたし、またそれを編集する職員も腕を上げ、素晴らしい作品ができていました。これもまた、コロナの影響を克服し、前に一歩進んだことなのだと思います。

これまで「当たり前」と思っていたことができなくなることは残念なことだし不自由なものです。それにあげずにコロナ禍だからこそ新しい「楽しみ」を作り上げた利用者の皆さん・職員の皆さんは素晴らしいと思います。

今年も寅年です。「寅」というと、動物のトラをイメージし勇猛果敢なイメージですが、「一方」「寅」という漢字は「春が来て草木が生じ、伸びていく状態」を示すのだそうです。トラのように勇猛にまた知恵を働かせ新型コロナウイルスに打ち勝ち、春を迎えたいように伸び伸びと成長できる年にしたいものです。

令和3年度は役員等改選が行われました。ここに紹介いたします。(敬称略)

評議員(任期令和7年定時評議員会まで)

- 大友 崇義(再任) 小倉 功(再任)
- 加藤 圭喜(再任) 小杉美津江(再任)
- 齋藤 英樹(新任) 鈴木 勇一(再任)
- 松本 秀夫(再任)

理事(任期令和5年定時評議員会まで)

- 藤戸 時一(再任・理事長)
- 菊池 芳夫(再任) 田仲喜一郎(再任)
- 中澤 和男(再任) 服部 栄子(再任)
- 山内 陽子(再任)

監事(任期令和5年定時評議員会まで)

- 齋藤 誠一(再任) 小田 悦子(再任)

「特別養護老人ホームなつぼ・デイサービスあじさいより」 『敬老の日』と『涼み会』

施設長 高井正己

「敬老の日」といえば9月15日、とお思いの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。これは、戦後兵庫県多可郡で行われた高齢者行事をきっかけに、この日を「としよりの日」とする運動が全国に広がり、その後9月15日は「敬老の日」として祝日になりました。

今では祝日法改正によって、「敬老の日」は9月の第3月曜日になりました。また老人福祉法改正により、9月15日を「老人の日」に、そしてその日から1週間は「老人週間」にもなっています。

何故9月15日なのか?例えば、聖徳太子が身寄りのない老人や病人の為に救護施設「悲田院」を設けた日とする云々もありません。他にも由来は諸説ありますので、皆さんも調べてみては如何でしょうか。

それでは、その敬老の日に、私共の施設において行っている行事についてご紹介いたします。

シヨートステイを含む特養なつぼとデイサービスあじさいは、平成29年9月13日から利用者様の受入れを開始しました。その5日後が敬老の日でしたが、当時は施設オープン間もない時期であった為、慌ただしい日々を過ごしており、前日まで敬老の日に気付く者はいなかったと記憶しております。当日になると、多数の職員が今日は敬老の日と認識した事で、利用者様に何か出来ないか皆で思案をし、プレゼントを用意する事にしました。幾つかのシヨットを巡り、相撲の決まり手が描かれた手ぬぐいを見つけ、それを皆様にお配りさせて頂きました。今考えると、利用者様には失礼であったかなと反省しておりますが、当時の利用者様にはとても喜んで頂いた事を思い出します。

翌年以降、この敬老の日には必ずイベントを実施出来るようにと考え、また敬老の日には特別な日として、施設行事における一番のお祭り企画をいたしました。利用者様への感謝の気持ちを込めて、ま

たご家族と共に楽しむ事が出来るイベントとして、それを「涼み会」という名の元職員も総力を挙げて準備・実施しています。当日は、ご家族、地域の方等200名程の方々がお越しくださいました。昔ながらの遊びの再現、昔ながらの食べ物提供、懐メロ演奏等、利用者様が昔を懐かしんで頂けるよう、また来所されたご家族や地域の皆様、そして職員にも楽しんで貰えるような企画にしております。

そのような中、令和2年度からはコロナ禍の為実施する事が叶わず、悔しい想いをしております。他の行事におきましても、やはり施設全体での行事が難しく、部署毎に少人数での実施です。利用者様からは寂しいとお話があります。また敬老の日に近くなると、ご家族の方からも「涼み会」開催可否の問い合わせもあります。職員にも、皆様と一緒に楽しみたいという気持ちが増えています。次年度には是非「涼み会」が開催出来たらと想い、強く念じているところです。

皆様も、このコロナ禍で制限された生活を送られているものと存じます。当施設におきましても前述した行事等に限らず、ご家族との面会も同様です。ご家族との面会では、利用者様にとってもよい表情が見受けられています。特養のユニットでは、職員も一緒に生活している同居者という考え方もありますが、長年ともに歩んできたご家族との関係には到底敵わないと思っております。しかし、面会も制限せざるを得ないこのコロナ禍の中、職員もご家族の代わりとなるよう、利用者様の権利擁護を確認しながら、丁寧な介護を提供していきたいと思っております。そして、自由に活動できる生活が一刻も早く取り戻せる事を、私共も切に希望しております。

末筆ではございますが、当施設も今年の9月に開設5年を迎えます。本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

すぎの芽学園

TEL 028-667-8091 FAX 028-667-8092



1/6

新年会

新年会では、ごちそうはもちろん、職員のパフォーマンスを見て笑いが巻き起こり、素敵な新年の幕開けとなりました。



男性職員が女性に変身〜!!



誰がわかりますか?

素敵な女性?とハイ!ポーズ



利用者様の笑顔の顔写真でぶどうを作成しました



ハロウィン ジャック・オ・ランタンをモチーフにお菓子入れを作りハロウィンを楽しみました。

コロナ禍でも季節を感じられるレクリエーションを行い楽しんでます♪



クリスマス会



12/25

クリスマス会

クリスマス会に向けて皆で色々な製作品を作り、クリスマスの雰囲気を楽しみました。クリスマス会ではプレゼントや美味しいケーキを食べ、幸せな時間となりました。

デイセンターすぎの芽

TEL 028-667-8093 FAX 028-670-3370



すいかを2玉購入し、皆さんですいか割りをして、大いに盛り上がりました。

8/17

すいか割り



デイ棟内を夏祭り風に見立てて、魚釣りゲーム・かき氷屋・フランクフルト屋を設置し、買い物しながら夏祭りを楽しみました。

7/22

夏祭り (魚釣り・買い物体験)



忘年会ではカラオケを行い、昼食は利用者の皆さんの希望でマクドナルドのセットメニューを食べました。皆さん美味しく召し上がっていました。

12/28

忘年会



クリスマス会では、ビンゴを行いました。縦・横・斜めをそろえる為に皆さん白熱していました。その後はケーキを皆さんで美味しくいただきました。

12/21

クリスマス会

サポートセンターとみや

TEL 028-666-1122 FAX 028-666-1139

11/23 パフェ作り



どんな風にするんだろ??



いただきます!!

10月 りんご狩り



美味しいりんごがとれたよ♪



これに決めた!!

10/28 ハロウィン



カエルに変身🐸



トリック・オア・トリート👻

ドリームセンター 一条

TEL 028-634-8639 FAX 028-902-1081

12/17 クリスマス会



メリークリスマス!

11/23 縁日お祭り



美味しいものいっぱい!

10/31 ハロウィン



皆カワイク変身!

みずほ福祉支援センター

TEL 028-656-7478 FAX 028-616-2854

6/22 落書きせんべい



職員の手元を真剣に見つめています。

7/6 セタ



さて、何が釣れるかな～？

10/14 みずほ秋まつり



盛り沢山のおまつりにワクワク♡

12/23 クリスマス会



サンタさん・トナカイさんと一緒にパチリ！

12/28 忘年会①



寿司職人さんが握ったお寿司に大満足♪

12/28 忘年会②



おせち料理めり絵コンテストで見事、優勝！

共同生活援助事業所きよはら荘 [おかもと荘・やまと荘 クラッソー条・りびん竹下] 問い合わせ先 (法人内) TEL 028-667-8091

12月25日、各ホームでクリスマス会を行いました。久しぶりのイベントに皆さんニコニコ顔！サンタクロースとトナカイがプレゼントを届けてくれました。



おかもと荘



りびん竹下



クラッソー条



やまと荘

誕生日会での一コマ。それぞれのホームで、ケーキでお祝いします。誕生日会が楽しみ！



特別養護老人ホームなつぼ

TEL 028-688-0290 FAX 028-688-0292

敬老の日のお祝いとクリスマス会を行いました。



餅つきを行い、鏡餅を作りました。お散歩外出もしました。



宝積寺グリーンパークへ、コスモスを見に行きました。



デイサービスあじさい

TEL 028-688-0291 FAX 028-688-0292



クリスマス会では
ハンドベルの演奏をしました♪



大根を育てて収穫しました。
「大根汁」にしてみんなで美味しく食べました。



プランで「きぶな」の
キーホルダーを作りました。



秋には栗の工作を、
冬に向けてはみかんの工作をしました。



おやつレクリエーションで
「すいとん汁」を皆で作って食べました。





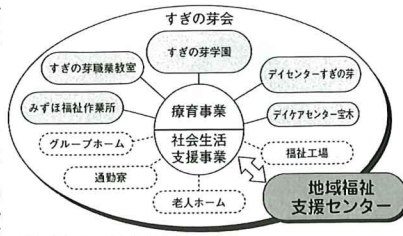
「『すぎの芽会』のさらなる発展に向けて」

すぎの芽会後援会

会長 田仲 喜一郎

本会は、今年3月に創立30周年を迎えます。平成4年春に、創設間もない「社会福祉法人すぎの芽会」の支援組織として、宇都宮地域の障害児をもつ親たちが集い活動を開始したのでした。平成9年に本会が発行した「すぎの芽会後援会しおり&会員名簿」には「すぎの芽会の夢・将来構想」が描かれていました。すぎの芽会が31年を経た今日、図中の社会生活支援事業のグループホーム・通勤寮（現きよはら荘）、福祉工場（現パン工房ちやお丸）、老人ホーム（現なつぽ）

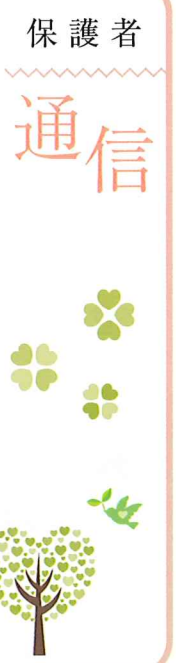
「すぎの芽会の夢」将来構想



平成9年4月発行 すぎの芽会後援会「しおり&会員名簿」より

など、宇都宮地域福祉センターとしての役割を法人が担っていることに改めて目を見張る想いです。そして本会も、法人のこのような進展に役立ってきたことに対して会員の皆様様に感謝申し上げる次第です。

これからも、さらなる地域社会への貢献を目指す法人への支援を心に期して、活動していきたいと考えています。会員の皆様のさらなるご協力のほどをお願い申し上げます。



「きよはら荘入居」

令和2年4月よりお世話になり間もなく2年の月日が経とうとしております。

令和が始まって間もなく、新たにグループホームができるかもしれないとお話を聞き、まだ、男女どちらかは勿論入居できるかどうかわからない中で、希望を出すか否か家族で何度も話し合いを行いました。

当然の事、本人も家族もずっと一緒に同じ家で生活していきたいとの考えは、皆さん同じかと思いますが、親亡き後の事を考えた時に・・・親が元気なうちに方向性を決めた方が良いのではないかと手を挙げさせて頂きました。

今まで何でも必要以上に両親が手助けをして生活してきた事が、今後の共同生活をする上で同じく入居する皆さんにご迷惑をかけないようにと洗濯・掃除等々、いままで親がやっていたことを本人に少しずつですが、自分でやるようにしました。もっと早くから自分でやる機会を増やせば良かったと後悔するばかりでした。

その後、幸いにも入居の決定を頂くことができ正直なところ、うれしさ半分、悲しさ半分の気持ちで令和2年4月1日の入居日を迎えることとなりました。

ホームでの生活の様子は、詳細にはわかりませんが、帰省した際に本人が食事、洗濯、お風呂、時には買い物等、職員の方のご指導のもと、一生懸命取り組んでいる様子を嬉しそうに話をしてくれます。また、入居前では考えられないくらい本人の成長が見え、今では本当に入居して良かったと思っております。

これからもホームでの生活の中では色々なことがあるかと思いますが、少しずつ成長していけますよう職員の方のご指導をお願いいたします。帰省した際には、家族での団欒を大切にしながらも、ホームでの生活のリズムを崩さないようにしていきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

(きよはら荘保護者様より)

法人内事業所間交流研修

平成28年から始まった、職員による法人内事業所間交流研修。法人内の別の事業所に赴き、部署以外の利用者様支援や取組みの様子、またその事業所の利用者様等と交流を図る職員対象の研修になります。年間十数名の職員が、希望の事業所での交流研修を行っています。令和2年からはコロナ禍の為此の研修も一時中断していましたが、昨年の秋以降県内を含め全国的に新型コロナウイルス感染者数が減少した為、状況を見ながら交流研修を再開し、以降既に数件の研修が行われています。法人内にも複数の事業所があり、各々特色のある事業を展開しておりますので、職員にとっても学びべき部分は多いと思います。今後も新型コロナウイルス感染症状況を見ながら継続していきたいと考えております。



ご寄附 ありがとうございます

昨年末、匿名の方より200万円の寄附を戴きました。心より御礼申し上げます。

そのお心遣いに感謝しつつ、大切に活用させていただきます。



information

新 職 員 紹 介



令和3年7月～令和3年12月



8/7 きよはら 荘
世話人

利用者様と一緒に生活している気持ちで、楽しく支援させていただきます。



7/8 きよはら 荘
世話人

利用者様が笑顔で、気持ち良く過ごせるように支援していきたいと思えます。



7/1 きよはら 荘
世話人

利用者様の生活が少しでも楽しくなる様心掛け、支援していきたいです。



7/1 なつぼ・あじさい
介護職員

プランクがありますが、一杯頑張りたいと思えます。



11/1 総務部
事務員

利用者様、職員の方々が日々笑顔で過ごせるよう努めて参ります。



9/1 医務部(なつぼ)
看護師

利用者様と笑顔で穏やかに過ごしていきたいです。

インフォメーション

ボランティア
ありがとうございます

令和3年7月1日
令和3年12月31日

(敬称略・順不同)

- 宮坂 健
- 西原 伸行
- 松本 秀夫
- 那須野照子
- 永井 良子
- さをりの会



おかもと荘



サポートセンターとみや



テイセンターすぎの芽



ドリームセンター一条



すぎの芽学園



なつぼ



りびん竹下



みずほ福祉支援センター



クラス一条



やまと荘

コロナ禍の為残念ながら今年も中止としたすぎの芽まつりですが、開催の際には披露して頂いているアトラクション発表を事業所毎に撮影し、その動画観賞を楽しみました。今年のテーマは「笑顔が繋ぐ私たちの心」でした。

すぎの芽まつり
アトラクション発表

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

まだまだコロナウイルス感染症の渦中にあり、ニュースの報道に一喜一憂し、心落ち着かない日々であります。各記事でお知らせの通り、新しい生活様式を取り入れながら、行事などを楽しんでおります。

今年も、利用者の皆様、職員一同、すぎの芽にかかわる皆様が、心豊かに実りある一年となりますようご祈念致します。引続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

広報委員